

視点を变えてみる戊辰戦争

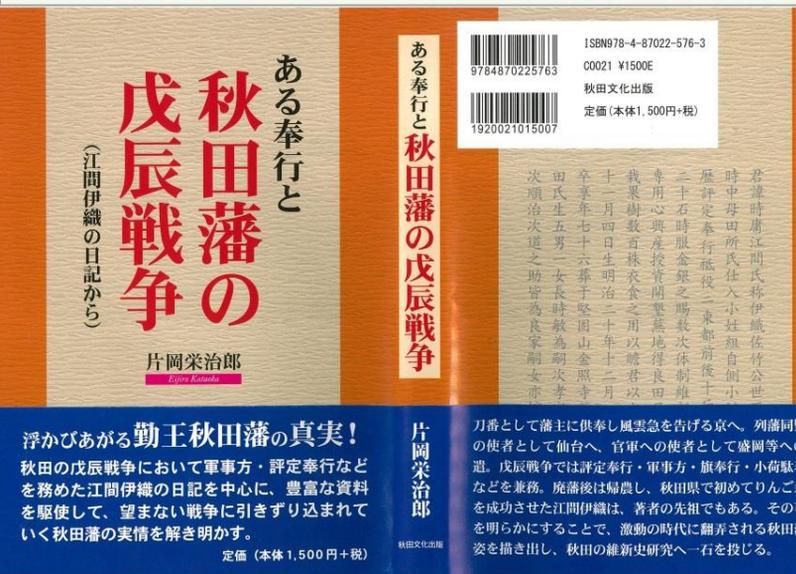
～秋田藩奉行 江間伊織の日記を中心～

- 平成30年は戊辰戦争150年で、従来の薩長史観や司馬史観的視点にとらわれない、各地域の視点から検証する動きが多く見られます。
- 今回の勉強会では、秋田藩の奥羽越列藩同盟から離脱の端緒となった仙台藩使者襲撃について、当時秋田藩奉行であった江間伊織と関係者の日記を中心にその前後の秋田藩内の動きからの視点で研究成果を説明を頂きます。

- ◆日時:平成31年1月26日(土) 14:30～16:30
- ◆会場:青葉区中央市民センター 第4会議室
- ◆講師:片岡 栄治郎 氏
- ◆定員:先着 40名
- ◆その他:勉強会終了後、講師を囲んで街道談義(兼新年会)を開催
- ・時間:18:00～ ・会場:詳細は後日
- ・参加費:4.5千円/人(予定)



仙台藩使節の首が晒された場所に慰霊のため、平成12年に地元有志により建立された川反観音(秋田市大町五丁目橋・橋詰) ※写真:河北新報より



【講師プロフィール】

昭和30年生、秋田市出身。仙台市在住。
 秋田藩奉行の江間伊織の子孫。東北大学教育学部卒業。仙台市内の中学校で社会科教員として勤務し、平成25年3月退職。
 著書:『ある奉行と秋田藩の戊辰戦争(江間伊織の日記から)』(2017年、秋田文化出版)、『ある奉行と秋田藩の戊辰戦争～江間伊織の日記を読んで～補遺』(平成30年11月)

浮かびあがる勤王秋田藩の真実!
 秋田の戊辰戦争において軍事方・評定奉行などを務めた江間伊織の日記を中心に、豊富な資料を駆使して、望まない戦争に引きずり込まれていく秋田藩の実情を解き明かす。
 定価(本体1,500円+税)

片岡栄治郎
 刀番として藩主に供奉し風雲急を告げる京へ、列藩同盟の使者として仙台へ、官軍への使者として盛岡等への道。戊辰戦争では評定奉行・軍事方・旗奉行・小荷駄などを兼務。廃藩後は帰農し、秋田県で初めてりんご栽培を成功させた江間伊織は、著者の先祖でもある。その事を明らかにすることで、激動の時代に翻弄される秋田藩姿を描き出し、秋田の維新史研究へ一石を投じる。

●参加申込み

下記の申込書又は同じ内容で、「みやぎ街道交流会事務局」まで申込みしてください。

E-mail miyagi.kaidou@gmail.com FAX 022-262-0379
 郵送 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-17

みやぎ街道交流会事務局 あて

申込み日:	月	日
-------	---	---

平成30年度勉強会「視点を变えてみる戊辰戦争」参加申込書

ふりがな					
氏名					
内容項目	募集定員	参加費	参加内容		備考
[第一部] 講演会	40名	無料	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
[第二部] 街道談義に参加しますか	20名程度	4,500円	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	

※街道談義参加費は、当日会場受付にて申し受けます。
 ※ 街道談義の参加キャンセルは1月23日(水)までに下記事務局に連絡ください。期日を過ぎたキャンセルは受けかねますのでご了承ください。